

ふるさと小野町会 ふれあい通信

思い出

草野 潔

(本町出身・神奈川県支部)



子ども達の夏休みが終わろうとするこの時期に、ふと思ひことがある。

自分が子どものころ、一月の夏休み期間が、なんと長く感じたことが、それに比べて50代も半ばになった今、月日の流れがアツという間の気がしてならない。

ある人が、一年という時間に対する感覚は、年齢分の一だと言っていたが、まさに至言だ。

つねにこうでも、夏休みがあったのは、はるか遠い日のことである。今、夏の一日に、一日が長かったころを振

り返ってみよう。

私の生家は、本町の専光寺の境内にあり、所在地は小野町役場と同じ。

近所に年の近い男の子が少なかったこともあって、一人で遊ぶことが多かった。

当時のこと、子どもの行動範囲など狭くて、もっぱら専光寺の周辺が遊びのフィールドだった。セミ採りが好きで、家の近くでセミの鳴き声がしたりアミを手にして飛び出してゆくような子どもだった。専光寺の本堂の床下にもべり込んでアリシコクヤツチグモと遊び、庭ではジガバチの巣づくりをあきもしないで眺めていた。

家の裏の夏井川は水浴びの場であり、この川の深みで泳ぎを覚えたものだった。思えばあのころの夏井川はきれいで、網ですくうところんな魚が捕れたっけ。粗末な竹竿に、うどん粉をこねた団子をエサに、一日中タナ釣りをしたなあ。

数十年の時を経て、今また魚釣りを趣味に楽しんでいる。

写真について
この春の釣果です。クロダイ、56gと2.5kgありました。

全国地域安全運動

10月11日～10月20日

「みんなでつくろう安心の街」

全国統一運動重点

- ① 子どもの犯罪被害防止
- ② 住宅を対象とする
侵入犯罪の防止
- ③ 振り込め詐欺の被害防止

平成19年中における全国の刑法犯認知件数は約191万件と10年ぶりに200万件を下回り、本年も引き続き減少傾向が維持されています。しかし、子どもが被害者となる事件や無差別殺傷事件、インターネット上の違法・有害情報に起因する事件等が発生するなど、犯罪情勢は依然として厳しい状況にあり、治安に対する国民の不安を解消するには至りません。

犯罪などの未然防止を図っていくためには、地域社会の構成員が安全で住みよい社会を実現するために、積極的な取り組みの推進を図ることが必要不可欠であり、防犯協会と警察の活動、防犯ボランティアの活動とがあいまって達成できるものです。

「全国地域安全活動」を更に発展させ、より安全で安心して生活のできる地域社会の実現を図っていきましょう。

行楽期・農繁期における火災予防

秋の行楽期や農繁期を迎え、外出や家を留守にする機会が多くなってきました。留守中の火災予防を図るため、次のことに注意しましょう。

- 外出前には火元の確認を忘れずに行いましょう。
特に旅行などで長期に不在になる場合には、必要でない電気コードをコンセントから抜いたり、隣近所に一声かけることも大切です。

- 屋外での廃棄物の焼却は「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」により禁止されています。
事業所や家庭などで、屋外での廃棄物の焼却はやめましょう。
例外的な焼却を実施する場合には、あらかじめ消防署に届出をしてくださいます。

地震に対する 日常の備え

地震は、いつどこで発生するか分かりません。最近では宮城県・岩手県を中心に発生した地震災害により、死傷者231人、火災4件、家屋にあっては全半壊を含め、1,719棟の大きな被害が発生しました。

このような大規模地震が発生したとき、被害を最小限におさえるには、一人ひとりが慌てずに落ち着いて適切な行動を取ることが大切です。

大きな地震の時、家族が慌てずに行動できるように普段から次のようなことを家庭内で話し合い、それぞれの分担を決めておきましょう。

- 家の中でどこが一番安全か
- 幼児や老人の避難は誰が責任を持つか
- 避難場所と避難経路はどこにするか
- 避難するとき、だれが何を持ち出すか
- 非常持ち出し袋に何をいれ、どこに置くか
- 家族間の連絡方法はどつするか
- 昼間の場合、夜間の場合の違いをどつするか
- 救急医薬品や火気等の点検

◆ 問い合わせ
田村消防署小野分署
072-226330